



JFK 日本の福祉を考える気仙沼若手の会

★本会は気仙沼管内の医療・福祉・介護に携わる若手が集う有志の会です。



団体マーク由来
『理知に富んだ教育』『豊かな教養』
を花言葉にする八重桜をデザイン。
中央部の黄色い円は
『地域・福祉・医療』の垣根を越えた
連携をイメージ。

◎活動はJFK公式Facebook/ホームページで紹介しています。

<http://www.jfk20121222yuushinokai.com>

インターネットYahooで「JFK 気仙沼」で検索することもできます。



FAX0226-24-2169

Mail : shin-endo@hotmail.co.jp

JFKの名称の由来は

団体名の由来と理念は第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディの名前と就任演説にあります。

『各々が自分に問いかけてほしい！国が何をしてくれるかではなく、国の為に何が出来るかを！』

: MY fellow Americans ask not/ what your country can do for you .ask / what you can do for your country. (1961)』という就任演説の中の“country”“国”を“kesennuma”“気仙沼”と置き換えました。

「気仙沼市が何をしてくれるかではなく、ただ待っているだけではなく、

自分たちが気仙沼市のために何が出来るかを考えよう！」

この考え方を私たちの基本理念にしております。私たちJFKはこの「基本理念」に賛同し、それぞれの職場の壁や立場を乗り越えていく強い覚悟を持った医療・福祉・介護の現場で働く若い人たちが集い、「気仙沼を福祉のまちにしたい」という共通の実現に向けて切磋琢磨していく**有志の会**なのです。

設立は平成24年.12月22日ですが、会の基盤となる人との繋がりは平成19年度からの2年間、認知症地域支援体制づくりの取り組みを通して協議し、行動を共にしてきた仲間との出会いから始まっています。

活動目標



東日本大震災後より気仙沼市では若い世代の流出により人口減少、高齢化率は35.2%と加速。

2025年には41.7%と推計。今後の超高齢化社会に伴って独居や高齢者世帯が増加していくにも関わらず、それを支える介護に携わる若手の人材不足は深刻。しかし、「人がいないから何もできない」と嘆いてばかりでは意味がありません。過酷な介護現場の状況に葛藤しながらも気仙沼を福祉まちにしたいと夢を持ち、「介護の質」を高めようと、「福祉のレベル」を上げようと志を持って頑張っている地元の若者達がたくさんおります。様々な活動を通して、地域に、全国に気仙沼の取り組みを発信していきたいと思えます。地元の若者が福祉にやりがいを持って仕事をしている姿、それを応援している地域があることを全国発信していくことで気仙沼に魅力を感じて、ここで働きたい、学びたい、生活したいと思える人達が集まってくることに期待したいと思っています。

【JFK役員構成】

会長 1名（認知症介護指導者）

副会長 1名（認知症ケア上級専門士）

事務局長 1名（社会福祉士）

理事 6名（介護支援専門員・社会福祉士・看護師・精神保健福祉士）



【会員保有資格】

認知症介護指導者 認知症ケア上級専門士（認知症ケア専門士） 社会福祉士 介護福祉士 作業療法士 保健師 看護師（准看護師） 精神保健福祉士 介護支援専門員 臨床心理士など

<会員数45名>

認知症の方だけではなく、高齢者のケアにおける優れた学識と高度なケア技術を習得し気仙沼に貢献すること。日本の福祉における喫緊の課題について協議し、その中で気仙沼が福祉のまちになるために必要なシステム構築と人材育成を目指す、のちに気仙沼の福祉システムとして全国への発信を目指すことを目的に**3**つを大きな活動計画とした。

活動1)会員知識、技術向上の自己研鑽活動(スキルアップミーティング)

毎月第3水曜日19:00~21:00まで。定例会およびスキルアップミーティングを開催。個々のスキルアップを目的にした研修会や地域課題の共有や協議を実施。

活動:2) 認知症啓発活動

地域包括支援センターの協力を得て「認知症サポーター養成講座」や独自のネットワークで認知症予防や介護の勉強会を開催。地域の認知症理解、見守り力の向上に努める。

活動3 認知症地域勉強会

気仙沼管内のみならず、県内各地の専門職に会員が講師や研修企画に協力し、自分たちの研修で学んだ知識、経験などを伝承、認知症ケアの向上に努める。

